

令和5年度 市民意識調査の結果 概要版



市民意識調査結果を公表するにあたり、田口市長から市民の皆様宛てのyoutube動画があります。
スマートフォン等で右の二次元コードを読み取りご覧ください。



調査目的および実施概要

(1) 調査の目的

仙北市を幸福度全国ナンバー1とするため、市民の日常生活と意識・行動を明らかにし、その結果を施策立案の基礎資料や、施策展開のための客観的データとして活用することを目的としています。

(2) 調査の内容

1. 幸福度
2. 地域への愛着やあるべきまちの姿
3. 普段の活動や暮らし
4. 市の施策への満足度・重要度

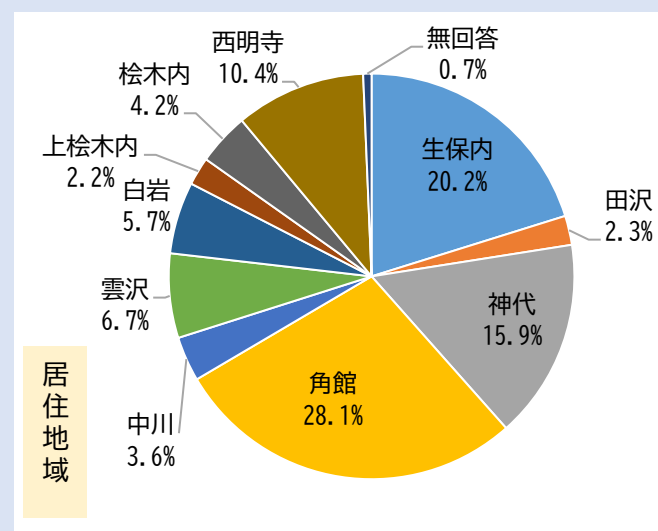
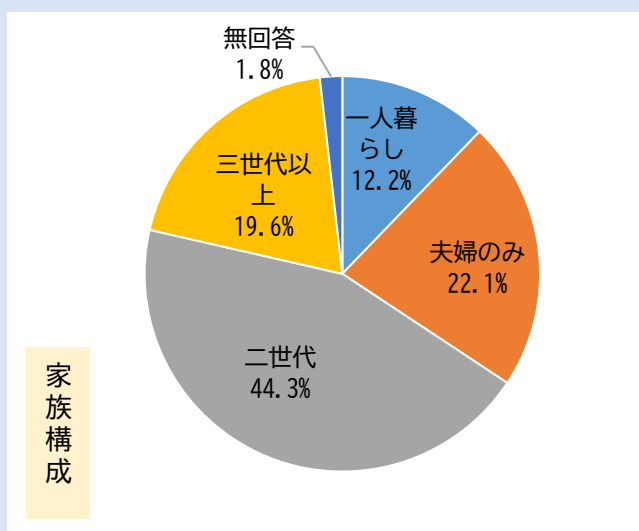
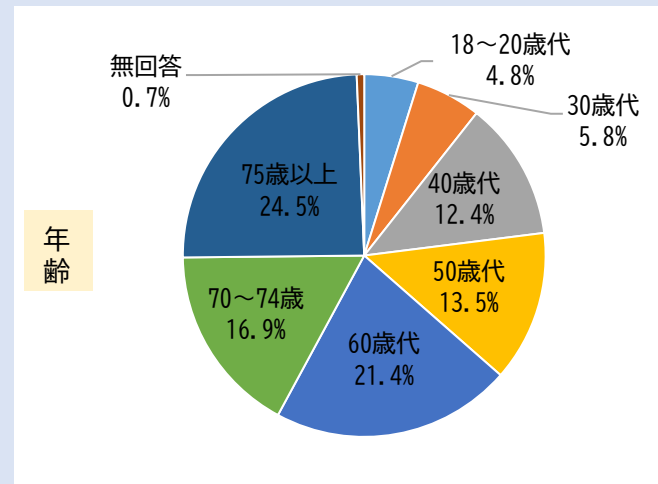
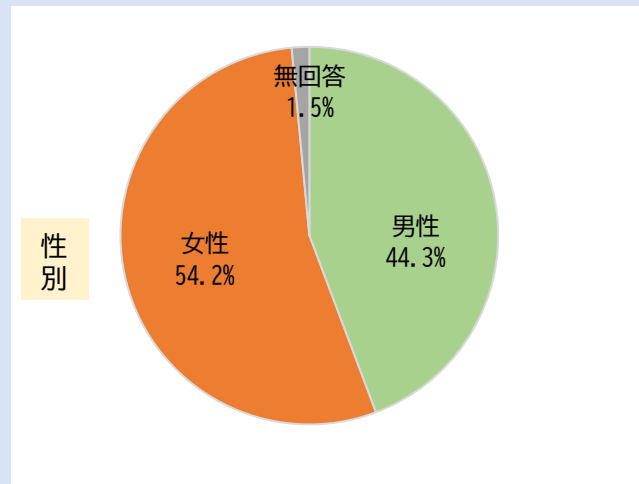
(3) 調査の設計

1. 調査対象：令和5年3月31日現在で市内に居住する満18歳以上の男女個人
2. 標本数：3,000人
3. 抽出用法：18歳以上の各年代別の地区別人口の構成比に応じて無作為抽出
4. 調査方法：郵送による調査票の配布および郵送による回答
5. 調査期間：令和5年5月17日(水)～6月2日(金)

(4) 回収結果

1. 有効回答数：1,204人（有効回答率40.1%）

回答者について



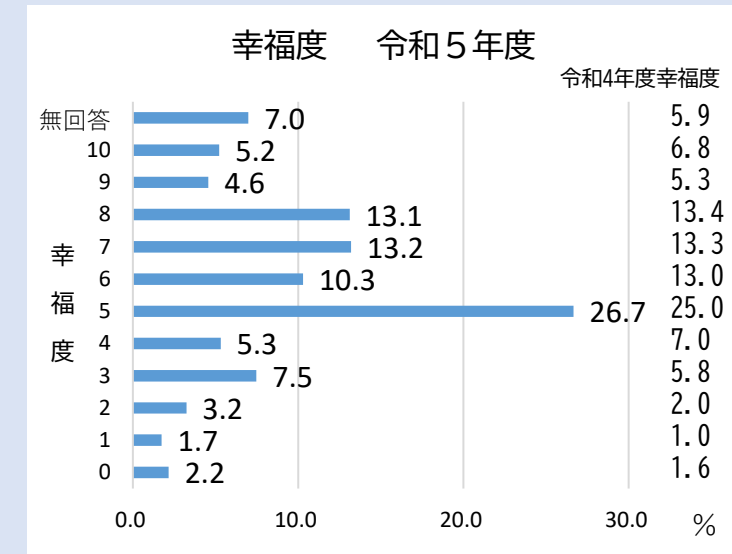
※比率(%)は、小数点以下第2位を四捨五入するため、各回答の比率の合計が100%とならないこと(99.9%、100.1%など)があります。

幸福度について

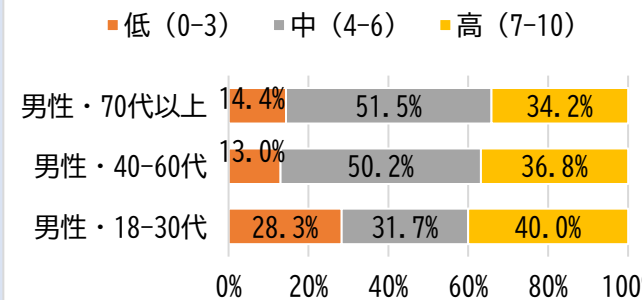
◆幸福度(0～10段階評価)について

「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、現在どの程度幸せであるかをお伺いしたところ、不幸でも幸福でもない中間の「5」を回答した方が多い結果となっています。

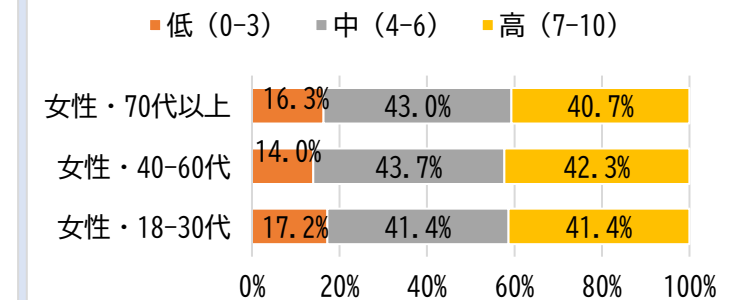
また、幸福度(0～10段階評価)の「0～3」を幸福度「低」、「4～6」を幸福度「中」、「7～10」を幸福度「高」と分類し、幸福度を性別と年代別でみると、18-30代男性が他の年代よりも幸福度が低い人の割合が高い結果となりました。



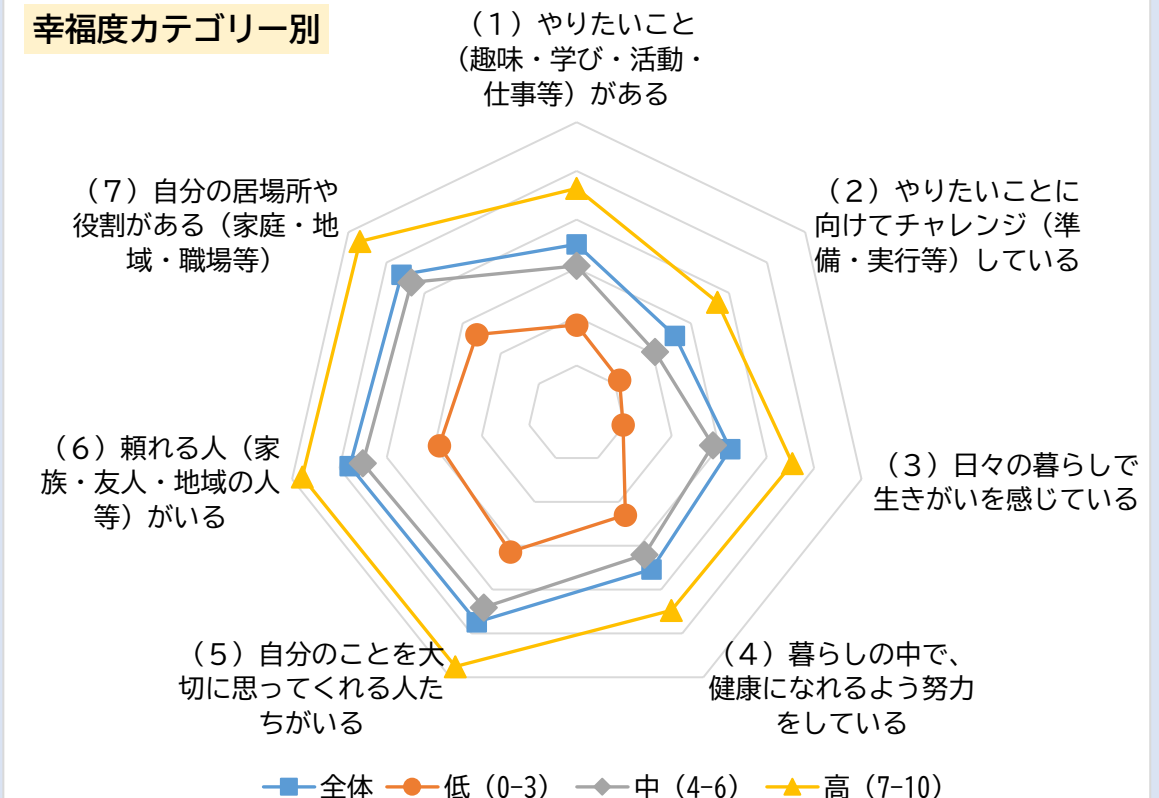
年代別・性別(男性)の幸福度



年代別・性別(女性)の幸福度



幸福度カテゴリー別



◆7つの項目と幸福度の関係

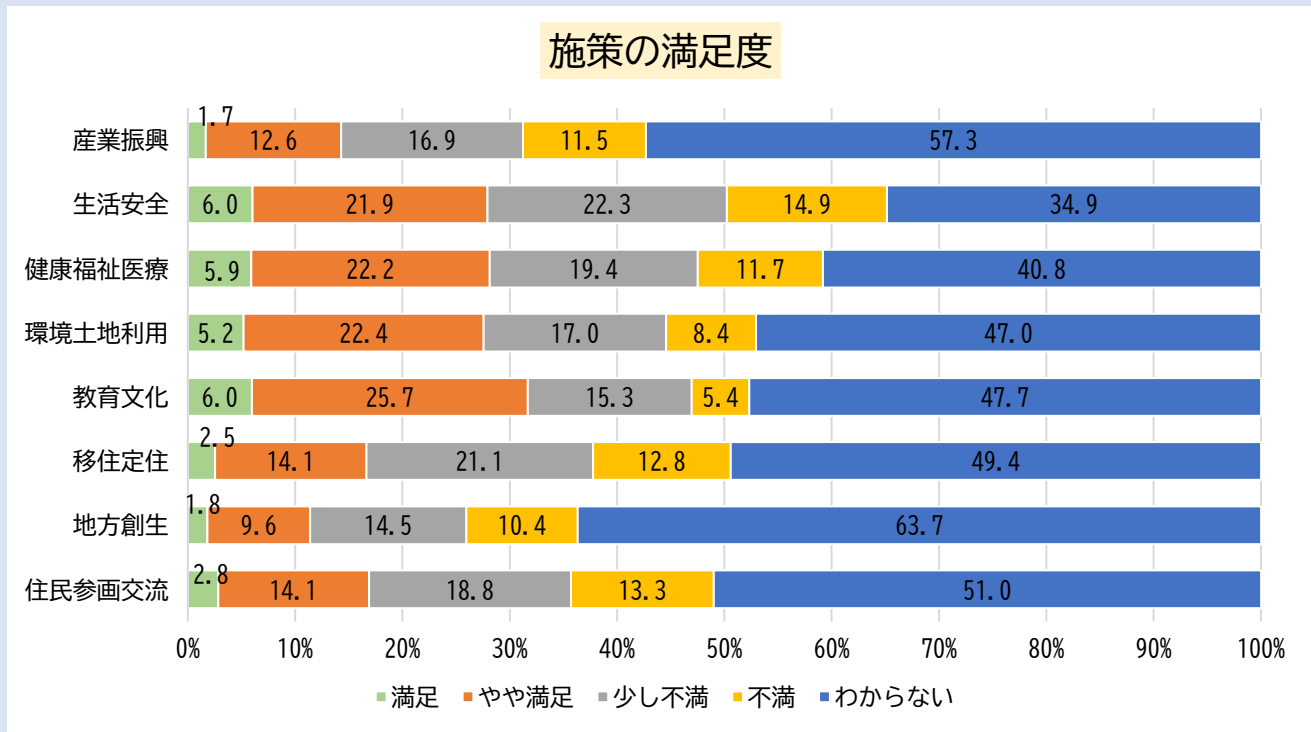
幸福感につながる7つの項目について分析したところ、7つの項目の数値が高い方ほど幸福度が高いという傾向がわかります。

※幸福度は幸福度(0～10段階評価)を「高」、「中」、「低」に分類したうえで分析しています。

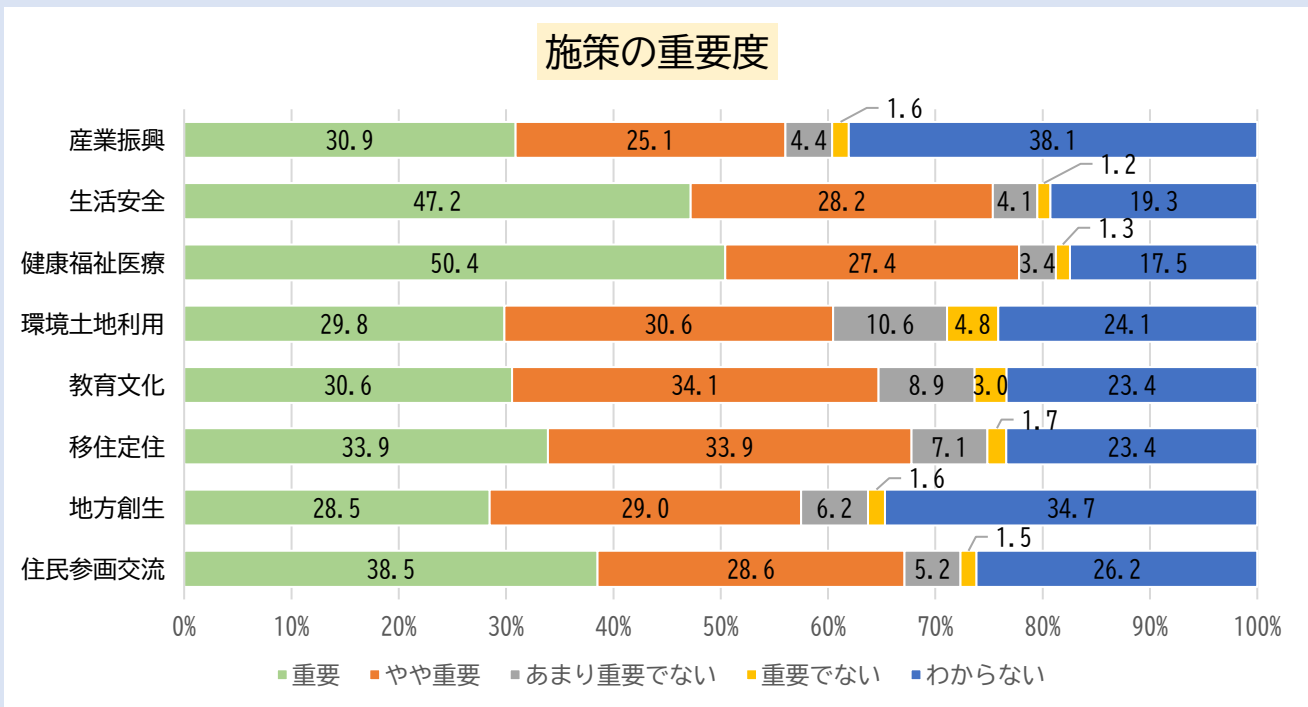
令和5年度 市民意識調査の結果 概要版

施策の満足度と重要度

第2次仙北市総合計画基本計画（後期）で定めた施策に対して現在の満足度と今後の重要度をお伺い、8つの施策大綱別にまとめて集計分析しました。

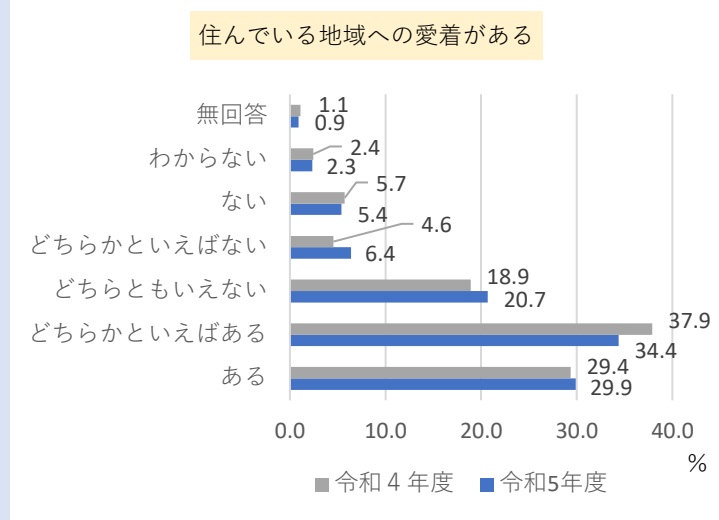


「生活安全」「健康福祉医療」「環境土地利用」「教育文化」分野の施策が比較的に満足度が高い一方で、「産業振興」「移住定住」「地方創生」「住民参画交流」分野における施策に対しては、満足度が比較的低い結果となりました。

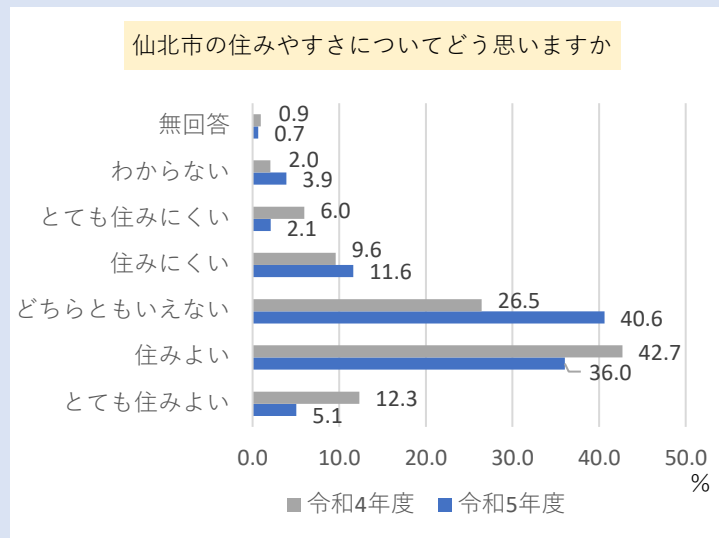


どの分野の施策においても重要、やや重要であると答えている割合が5割を超えていますが、特に「健康福祉医療」や「生活安全」分野の施策での割合が高い結果となりました。

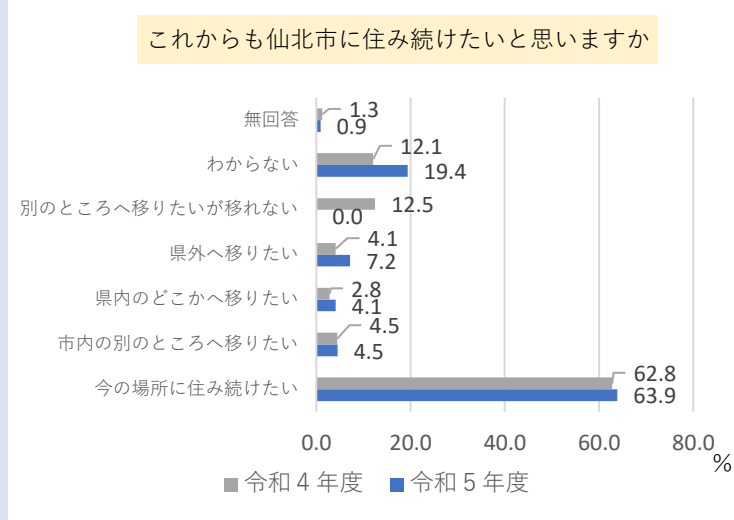
住んでいる地域への愛着など



地域への誇りや愛着に対しては「ある」、「どちらかといえばある」を合わせた割合が、64.3%となり昨年より3ポイント減少となりました。

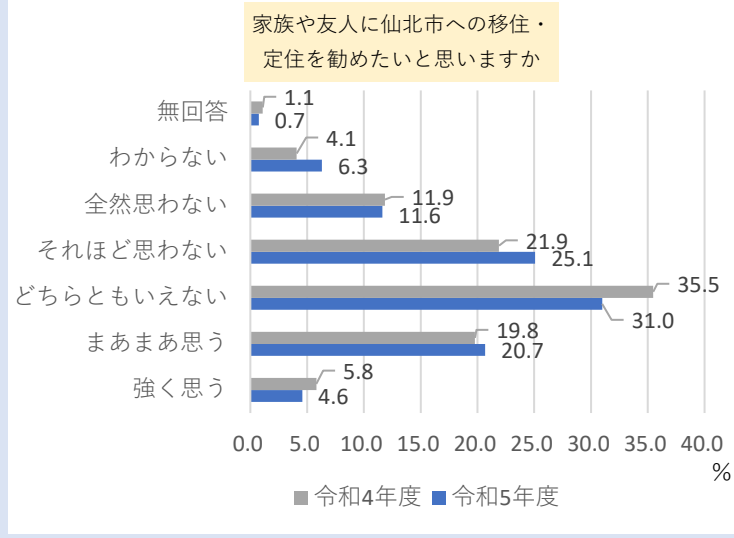


仙北市の住みやすさに対しては「住みよい」、「まあ住みよい」を合わせた割合が、41.1%となり昨年度より13.9ポイント減少となりました。



昨年と同様に6割を超える方が今の場所に住み続けたいと回答をしています。

※令和5年度は「別のところへ移りたいが移れない」の項目を削除しています。



「強く思う」、「まあまあ思う」を合わせて25.3%と昨年とほとんど変わりはありませんでした。一方で、「全然思わない」、「それほど思わない」は合わせて36.7%となり昨年度より2.9ポイント上昇しました。

市民意識調査概要版及び詳細版(カラー)につきましては仙北市ホームページに掲載しています。
スマートフォン等で右の二次元コードを読み取りください。

